

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

## 株式会社ジャックス（証券コード:8584）

### 【据置】

長期発行体格付	A-
格付の見通し	安定的
債券格付	A-
発行登録債予備格付	A-
国内CP格付	J-1

### ■格付事由

- (1) 三菱 UFJ フィナンシャル・グループ（MUFG）の信販大手。三菱 UFJ 銀行の持分法適用関連会社（出資比率 20%）。クレジット事業、カード・ペイメント事業、ファイナンス事業、海外事業などを展開している。個品割賦や投資用マンションローン保証などの分野に強みを持つ。格付は強固な事業基盤、安定的な収益力に支えられている一方、資本充実度に改善の余地があることを反映している。MUFG グループと資本、営業、資金調達などの各面で密接な関係を構築しており、同グループにおいて信販機能を担うジャックスの戦略的重要性は高い。これを踏まえ、格付にはジャックスの単体評価をベースに、同グループによる信用補完を織り込んでいる。
- (2) 個品割賦、投資用マンションローン保証で国内トップクラスの市場地位と競争力を有する。クレジットカードやペイメントの分野においても一定の営業基盤を構築している。経常利益ベースの ROA、償却引当前の利益による与信費用等の吸収力でみた収益性はやや低いが、割賦利益繰延残高や保証残高の積み上げを背景に利益の安定性は高い。21/3 期は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、海外事業の与信費用が大きく増加したものの、国内事業の個品割賦や投資用マンションローン保証が利益を下支えした。与信厳格化や金融費用削減などにより海外事業は立て直しが進みつつあり、今後の利益水準は向上していくと JCR は想定している。
- (3) 資産の質はおおむね良好である。営業資産対比でみた連結与信費用は一定の範囲内に抑制されている。21/3 期は海外事業でインドネシアとフィリピンを中心に与信費用が増加した一方、国内事業で延滞債権比率や貸倒償却率が低位にとどまったことが寄与した。投資用マンションローン保証および銀行向け個人ローン保証の代位弁済率についても問題のない水準にある。
- (4) 資本充実度は格付対比でやや低い。割賦利益繰延やオフバランス債権などを考慮した JCR 調整後の自己資本比率やリスク量対比でみた資本充実度は改善の余地がある。流動性に特段の懸念はない。三菱 UFJ 銀行を中心に強固な間接調達基盤を有する。CP や社債発行、債権流動化などの直接調達を通じた調達の多様化も進めている。

（担当） 大山 肇・浅田 健太

## ■格付対象

発行体：株式会社ジャックス

### 【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A-	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第12回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2014年12月5日	2021年12月3日	0.545%	A-
第13回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2015年2月27日	2022年2月25日	0.644%	A-
第14回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2015年10月23日	2022年10月21日	0.752%	A-
第16回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2017年6月9日	2022年6月9日	0.250%	A-
第17回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2017年6月9日	2024年6月7日	0.370%	A-
第18回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	150億円	2017年10月16日	2024年10月16日	0.370%	A-
第19回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	150億円	2018年6月15日	2023年6月15日	0.250%	A-
第20回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2018年6月15日	2025年6月13日	0.360%	A-
第21回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	50億円	2018年6月15日	2028年6月15日	0.490%	A-
第22回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	150億円	2018年10月15日	2023年10月13日	0.240%	A-
第23回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	50億円	2018年10月15日	2028年10月13日	0.544%	A-
第24回無担保社債（社債間限定同順位特約付）（グリーンボンド）	100億円	2019年4月16日	2024年4月16日	0.300%	A-
第25回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2019年4月16日	2026年4月16日	0.400%	A-
第26回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200億円	2019年10月10日	2022年10月7日	0.030%	A-
第27回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2019年10月10日	2024年10月10日	0.210%	A-
第28回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2019年10月10日	2029年10月10日	0.380%	A-
第29回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2021年1月27日	2024年1月26日	0.190%	A-
第30回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	150億円	2021年1月27日	2026年1月27日	0.280%	A-
第31回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2021年1月27日	2031年1月27日	0.500%	A-
第32回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200億円	2021年6月8日	2026年6月8日	0.230%	A-
第33回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2021年6月8日	2028年6月8日	0.350%	A-
第34回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2021年6月8日	2031年6月6日	0.460%	A-

対象	発行予定額	発行予定期間	予備格付
発行登録債	2,000億円	2020年3月11日から2年間	A-

対象	発行限度額	格付
コマーシャルペーパー	5,000億円	J-1

## 格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2021年10月21日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：松村 省三  
主任格付アナリスト：大山 肇
3. 評価の前提・等級基準：  
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：  
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「信販・クレジットカード」(2013年7月1日)、「金融グループの持株会社および傘下会社の格付方法」(2019年3月29日)として掲載している。
5. 格付関係者：  
(発行体・債務者等) 株式会社ジャックス
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：  
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度をもって示すものである。  
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。  
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：  
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表  
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：  
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

## ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

## ■用語解説

予備格付：予備格付とは、格付対象の重要な発行条件が確定していない段階で予備的な評価として付与する格付です。発行条件が確定した場合には当該条件を確認し改めて格付を付与しますが、発行条件の内容等によっては、当該格付の水準は予備格付の水準と異なることがあります。

## ■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

## ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

## 株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル